



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月27日

上場会社名 株式会社両毛システムズ
 コード番号 9691

上場取引所 東

URL <https://www.ryomo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北澤 直来

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 上山 和則 (TEL) 0277 - 53 - 3131

四半期報告書提出予定日 2020年11月4日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,190	△10.3	439	△34.1	438	△34.8	292	△33.4
2020年3月期第2四半期	8,019	27.4	666	514.6	672	468.6	439	455.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 308百万円(△24.1%) 2020年3月期第2四半期 406百万円(457.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	83.65	—
2020年3月期第2四半期	125.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,327	8,650	56.4
2020年3月期	15,999	8,457	52.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 8,650百万円 2020年3月期 8,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 18円00銭 50周年記念配当 15円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	1.0	750	△41.1	765	△40.5	506	△41.4	144.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	3,510,000株	2020年3月期	3,510,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	11,137株	2020年3月期	11,137株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	3,498,863株	2020年3月期2Q	3,498,905株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の緊急事態宣言が全面解除された2020年5月を底に、緩やかな回復基調が見受けられましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益に大幅な減少が続き、業況判断の回復幅は小幅で推移するなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況により、企業のIT投資に抑制や先送りが見受けられる一方で、働き方改革への対応として、リモートワークの導入や業務プロセスのデジタル化等の環境整備へのIT投資は底堅く推移いたしました。

このような状況のなか、当社及び連結子会社（以下、当社グループ）では、「RSビジョン2025」実現に向け、第9次中期経営方針である、「変革・成長」、「強化・拡大」、「構造改革」、「戦略投資」を目指し、公共分野及び民間分野とも引き続き受注拡大、製品・サービス強化、ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

受注、売上面では、緊急事態宣言等による移動の制限により、受注活動やシステム導入支援活動において、一定の制約を受けましたが、お客様にサービスを計画的に提供することができたことに加え、公共事業セグメントにおいて、コロナ禍の影響による臨時的なアウトソーシング業務やシステム機器・プロダクト関連販売が発生したこと等により計画を上回りました。

また、利益面では、リモートワークの推進による生産性の向上等により、収益構造が改善したことに加え、広告宣伝費等、経費の執行見直しにより計画を上回りました。

その結果、収益は計画を上回りましたが、前年同期と比べ、大型案件や法改正等に伴うシステム改修案件の反動減があったことから、売上高は7,190百万円（前年同期比10.3%減）、営業利益は439百万円（前年同期比34.1%減）、経常利益は438百万円（前年同期比34.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は292百万円（前年同期比33.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(公共事業セグメント)

公共事業セグメントは、ソフトウェア開発・システム販売分野では、水道事業者向けシステム販売等が利益に貢献いたしました。大型案件や法改正等に伴うシステム改修案件の反動減により低迷いたしました。情報処理サービス分野では、コロナ禍の影響による臨時的なアウトソーシング業務、また、システム機器・プロダクト関連販売分野では、GIGAスクール構想の前倒しにより、関連した環境整備が収益に貢献したことにより、計画を上回りました。

その結果、売上高は3,219百万円（前年同期比10.5%減）、セグメント利益は529百万円（前年同期比53.4%増）となりました。

(社会・産業事業セグメント)

社会・産業事業セグメントは、新型コロナウイルス感染症の影響により、すべてのサービス分野*で低調に推移いたしました。組込分野では、企業の業況判断の改善とともに、商談状況に回復の兆しがみえてまいりましたが、計画に対しては減収となりました。しかしながら、費用削減等により利益には貢献いたしました。また、製造業向け開発案件等が低迷したこと等により、収益は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は3,970百万円（前年同期比10.2%減）、セグメント利益は826百万円（前年同期比24.5%減）となりました。

※サービス分野とは次の4分野です

- ソフトウェア開発・システム販売
- 情報処理サービス
- システム機器・プロダクト関連販売
- その他の情報サービス

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

(資産・負債・純資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は15,327百万円（前連結会計年度末15,999百万円）となり、671百万円減少しました。流動資産は10,201百万円となり517百万円減少し、固定資産は5,126百万円となり153百万円減少しました。

流動資産の減少要因は、たな卸資産が133百万円増加しましたが、リース投資資産が370百万円、未払金の支払等により現金及び預金が290百万円それぞれ減少したこと等によるものです。固定資産の減少要因は、減価償却費の計上等により、有形固定資産が100百万円、無形固定資産が77百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は6,676百万円（前連結会計年度末7,541百万円）となり、864百万円減少しました。流動負債は3,121百万円となり411百万円減少し、固定負債は3,555百万円となり453百万円減少しました。

流動負債の減少要因は、消費税の納付等によりその他（主に未払金）が427百万円減少したこと等によるものです。固定負債の減少要因は、リース債務が455百万円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は8,650百万円（前連結会計年度末8,457百万円）となり、193百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が177百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ790百万円減少し、2,614百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、41百万円（前年同期は578百万円）となりました。この主な要因は、その他の流動負債（主に前受金）が減少したことにより258百万円の資金の減少がありましたが、税金等調整前四半期純利益438百万円の計上等の資金の増加があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、625百万円（前年同期は317百万円）となりました。この主な要因は、定期預金の担保差入れによる支出500百万円の資金の減少があったこと等によるものです。

営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローをあわせたフリー・キャッシュ・フローは583百万円の減少（前年同期は261百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、206百万円（前年同期は88百万円）となりました。この主な要因は、配当金の支払額115百万円（うち、50周年記念配当52百万円）の資金の減少等があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しについては、景気は持ち直しの動きは見られるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益に大幅な減少が続き、企業のIT投資の抑制等が見受けられる等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、移動の制限や展示会等の中止による受注活動への影響がありますが、積極的なソリューション提案を行い、計画の達成を目指してまいります。

以上のことから、当社グループの通期の連結業績予想につきましては、現時点で2020年5月12日に開示した内容に修正はありません。

なお、今後の業績の動向等を精査し、通期連結業績予想の修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,773,738	3,483,200
受取手形及び売掛金	2,703,396	2,680,203
リース投資資産	2,641,025	2,270,264
たな卸資産	645,567	779,191
その他	955,366	988,294
貸倒引当金	△83	△65
流動資産合計	10,719,010	10,201,089
固定資産		
有形固定資産	2,379,033	2,278,097
無形固定資産		
ソフトウェア	422,067	521,974
ソフトウェア仮勘定	194,741	39,851
その他	316,827	294,213
無形固定資産合計	933,637	856,039
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	1,306,546	1,348,142
その他	660,878	644,301
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,967,424	1,992,443
固定資産合計	5,280,095	5,126,580
資産合計	15,999,106	15,327,669
負債の部		
流動負債		
買掛金	546,342	528,422
未払法人税等	73,024	181,524
賞与引当金	749,253	660,683
役員賞与引当金	16,044	19,793
受注損失引当金	18,440	28,934
その他	2,130,530	1,702,569
流動負債合計	3,533,637	3,121,927
固定負債		
長期借入金	1,500,000	1,500,000
リース債務	2,292,020	1,836,204
退職給付に係る負債	2,964	3,048
資産除去債務	145,000	145,000
その他	68,237	70,778
固定負債合計	4,008,222	3,555,031
負債合計	7,541,859	6,676,959

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	4,267,293	4,444,507
自己株式	△8,667	△8,667
株主資本合計	8,679,175	8,856,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,178	11,278
為替換算調整勘定	△31,466	△31,823
退職給付に係る調整累計額	△182,284	△185,135
その他の包括利益累計額合計	△221,929	△205,680
純資産合計	8,457,246	8,650,709
負債純資産合計	15,999,106	15,327,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	8,019,200	7,190,193
売上原価	6,168,048	5,489,660
売上総利益	1,851,151	1,700,532
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	410,516	478,517
賞与引当金繰入額	144,406	167,384
役員賞与引当金繰入額	19,052	21,346
退職給付費用	△5,837	11,784
貸倒引当金繰入額	29,272	△18
その他	586,917	582,293
販売費及び一般管理費合計	1,184,328	1,261,307
営業利益	666,823	439,225
営業外収益		
受取利息	649	547
受取配当金	3,951	3,250
受取賃貸料	3,737	3,761
転リース差益	6,442	6,699
その他	2,527	3,036
営業外収益合計	17,308	17,295
営業外費用		
支払利息	9,935	9,391
賃貸収入原価	501	501
システム移行関連費用	-	4,591
その他	1,547	3,814
営業外費用合計	11,984	18,298
経常利益	672,147	438,222
特別利益		
固定資産売却益	264	-
特別利益合計	264	-
特別損失		
固定資産除却損	120	74
特別損失合計	120	74
税金等調整前四半期純利益	672,292	438,148
法人税等	232,512	145,471
四半期純利益	439,780	292,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	439,780	292,676

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	439,780	292,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,735	19,457
為替換算調整勘定	△1,848	△357
退職給付に係る調整額	△24,384	△2,851
その他の包括利益合計	△32,968	16,248
四半期包括利益	406,812	308,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	406,812	308,925
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	672,292	438,148
減価償却費	177,972	192,255
無形固定資産償却費	113,348	138,084
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△138,380	△45,650
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△623	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	45,655	△88,638
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	7,847	3,965
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△962,323	10,493
貸倒引当金の増減額(△は減少)	29,272	△18
受取利息及び受取配当金	△4,601	△3,798
支払利息	9,935	9,391
固定資産売却損益(△は益)	△264	-
固定資産除却損	120	74
売上債権の増減額(△は増加)	327,932	21,933
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,363,008	△133,624
リース投資資産の増減額(△は増加)	361,521	370,760
その他の流動資産の増減額(△は増加)	2,819	29,431
仕入債務の増減額(△は減少)	△353,562	△173,389
未払費用の増減額(△は減少)	13,065	△10,418
リース債務の増減額(△は減少)	△390,008	△400,546
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△438,658	△258,339
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△3,636	△10,947
その他	△2,558	△2,558
小計	830,173	86,606
利息及び配当金の受取額	4,576	3,755
利息の支払額	△9,985	△9,391
法人税等の支払額	△246,334	△39,945
営業活動によるキャッシュ・フロー	578,430	41,025
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△170,000	△170,000
定期預金の払戻による収入	170,000	170,000
定期預金の担保差入れによる支出	-	△500,000
投資有価証券の取得による支出	△115	△119
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△21,620	△12,141
有形固定資産の取得による支出	△171,842	△70,403
有形固定資産の売却による収入	264	-
無形固定資産の取得による支出	△118,412	△42,336
関係会社貸付けによる支出	△8,400	-
関係会社貸付金の回収による収入	3,000	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317,126	△625,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△39,500	-
リース債務の返済による支出	△72,374	△91,413
セール・アンド・リースバックによる収入	86,967	-
配当金の支払額	△63,243	△115,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,150	△206,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,069	335
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	172,084	△790,377
現金及び現金同等物の期首残高	3,170,856	3,405,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,342,941	2,614,632

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

2018年12月14日に開示した「当社に対する訴訟の提起に関するお知らせ」のとおり、2018年10月26日付けで株式会社オージス総研より訴訟を提起されました。

当社といたしましては、訴訟手続きにおいて、当社の正当性が全面的に受け容れられるよう主張してまいります。

なお、本件訴訟が当社グループの今後の業績に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,596,794	4,422,406	8,019,200	—	8,019,200
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,596,794	4,422,406	8,019,200	—	8,019,200
セグメント利益	345,546	1,093,679	1,439,226	△772,402	666,823

(注) 1. セグメント利益の調整額△772,402千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△102,904千円及び全社費用△669,498千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,219,432	3,970,761	7,190,193	—	7,190,193
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,219,432	3,970,761	7,190,193	—	7,190,193
セグメント利益	529,969	826,057	1,356,027	△916,801	439,225

(注) 1. セグメント利益の調整額△916,801千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△145,542千円及び全社費用△771,258千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。